

アジア・オセアニア 豆 知 識



中国、産業の高度化時代の幕開け ～2030年までにAI技術を世界最先端の水準に引き上げ

労働集約型産業を主体とする成長モデルからの脱却をめざす中国政府は、AI（人工知能）関連産業を今後の経済成長を牽引するものと重視し、近年その振興策を次々と打ち出しています。2017年には、**中国のAI産業を2030年に世界トップ水準に向上させる野心的な国家戦略を発表**しており、中国においてAIの技術開発・市場開拓が加速していくものとみられます。

AI関連産業を今後の経済成長を牽引するものと重視

中国では、スーパーコンピュータの開発において躍進を遂げるなどAI関連分野における実績があるほか、国際競争力を持つ大手インターネット企業を有しています。こうした中、AI関連の振興策が次々と打ち出されるなど、**政府がトップダウン方式で政策運営を進めており、中国におけるAIの技術開発・市場開拓は想定以上のスピードで進む可能性**が考えられます。

中国政府による一連の政策は、中国経済を重厚長大型の古い体質からハイテク産業などの新しい体質に変革させ、経済の質の向上を図っているように見受けられます。今後、中国がAI分野で世界をリードする米国に追いつき、目標とする2030年までに世界トップとなるのか、その動きが注目されます。

<中国におけるAI（人工知能）関連策の例>

	政策名等[発表機関]	主な内容
2015年5月	メイド・イン・チャイナ（中国製造）2025 [国務院]	「製造大国」から「製造強国」への転換を掲げ、「次世代情報通信技術産業」「高度数値制御工作機械・ロボット産業」を重点分野に設定。
2015年7月	インターネットプラス行動指導意見 [国務院]	インターネットとAIの融合を意味する「インターネットプラスAI」を提唱。
2016年3月	国民経済と社会発展・第13次五か年（2016－2020年）計画要綱[国務院]	AI関連技術の発展を重要分野に設定。
2016年5月	インターネットプラスAI三年行動実施方案 [国家発展改革委員会]	2018年までに1,000億元レベルのAI活用市場を創出する目標を設定。
2017年3月	政府活動報告[国務院]	AIの技術研究開発と実用化を加速すると表明。
2017年7月	次世代AI発展計画[国務院]	2030年までに関連産業を含めて10兆元を越す規模のAI市場を創出。
2017年12月	促進新一代人工智能産業発展三年行動計画（2018-2020年） [国務院]	次世代AI発展計画の具現化。製品分野、核インフラ分野、製造分野、関連分野の4分野を行動目標として制定。

（出所）独立行政法人「労働政策研究・研修機構」の資料などを基に三井住友アセットマネジメント作成

■当資料は、情報提供を目的として、三井住友アセットマネジメントが作成したものです。特定の投資信託、生命保険、株式、債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。■当資料に基づいて取られた投資行動の結果については、当社は責任を負いません。■当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。■当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。■当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。■当資料に掲載されている写真がある場合、写真はイメージであり、本文とは関係ない場合があります。